

KANDADA

□ 展覧会全体タイトル 「KANDADA/project collective.019~023」 展

- 【1】 9月15日(金)~10月7日(土) .019_クレメンティーン・デリス 展
- 【2】 9月15日(金)~10月7日(土) .020_カン・ホング 展
- 【3】 11月24日(金)~12月16日(土) .021_コジット・ジュンタラティップ 展
- 【4】 12月22日(金)~2007年1月20日(土) .022_0/DATE 展
- 【5】 1月26日(金)~2月17日(土) .023_山城知佳子 展

□ 開催期間 2006年9月15日(金)~2007年2月17日(土) 12:00~19:00

休館日：日曜、月曜、祝日

* 2006年12月27日(水)~2007年1月8日(祝・月)まで長期お休みいたします。

□ 会場 プロジェクトスペースKANDADA
〒101-0054東京都千代田区神田錦町3-9精興社1F

□ 主催 アーティストイニシアティブ コマンドN

□ 後援 ブリティッシュ・カウンシル、韓国文化院、タイ王国大使館(申請中)

□ 助成 芸術文化振興基金、国際交流基金

□ 認定 (社)企業メセナ協議会

□ 協賛 (株)精興社

□ 主催 アーティストイニシアティブ コマンドN

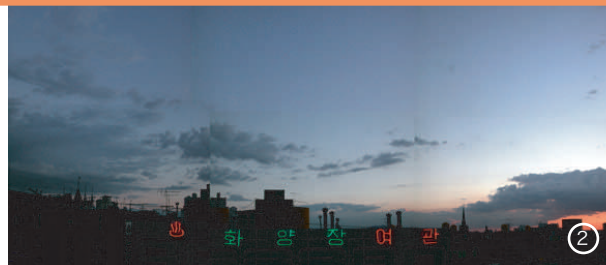
□ 連絡先 TEL 03-3518-6176 FAX 03-3518-6177
E-mail kandada@commandn.net HP www.commandn.net

本展覧会は、「地域社会とアートプロジェクト」をテーマとした展覧会です。5組の招聘作家による作品展示を連続的に個展形式で開催致します。招聘作家は、千代田区において滞在制作をし、それぞれの出身地の地域性を取り入れた作品制作と展示を予定しています。

アーティストがどのような形で地域との関わりを持っているのか、また、その繋がりからどのような作品が生まれ、どのような可能性を地域に落としていくのか？本展では、海外の地域3箇所、国内の地域2箇所からアーティストを招聘し、テーマを検証していきます。




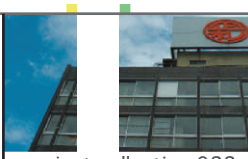



スケジュール



- ① クレメンティーン・デリス作品
- ② カン・ホング作品

<全体会期>2006年9月15日(金)~2007年2月17日(土)

展覧会期間	作家名 / 年月	2006年 10月	11月	12月	2007年 1月	2月	
9月15日(金) ~10月7日(土)	【collective.019】 クレメンティーン・デリス	project collective.019 	▲9月15日にオープニングパーティーを行います。 ▲同日にアーティストトークもを行います。		◎各個展では、滞在制作により制作された作品を含め、東京初公開のインスタレーション作品を展示します。 ◎招聘作家による、アーティストトークイベントを各展示期間中に開催いたします。		
10月20日(金) ~11月11日(土)	【collective.020】 カン・ホング	▲10月20日にオープニングパーティーを行います。	project collective.020 				
11月24日(金) ~12月16日(土)	【collective.021】 コジット・ジュタラティップ	▲11月24日にオープニングパーティーを行います。		project collective.021 			
12月22日(金) ~07年1月20日(土)	【collective.022】 O/DATE	▲12月22日にオープニングパーティーを行います。		project collective.022 			
1月26日(金) ~2月17日(土)	【collective.023】 山城知佳子	▲2007年1月26日にオープニングパーティーを行います。		project collective.023 			

■KANDADA開場時間 12:00~19:00

■休館日 日曜、月曜、祝日 *2006年12月27日(水)~2007年1月8日(祝・月)まで長期お休みいたします。

【project collective.019】

<エジンバラ/スコットランド
からの招聘作家>

クレメンティーン・デリス

開催：9月15日(金)
～10月7日(土)



- ① 機関誌『メトロノーム』
- ② ドキュメントのプレゼン風景
- ③ 古本で制作したサンダル

□略歴

Clementine Deliss (クレメンティーン・デリス)

1960年/ロンドン生まれ。エジンバラ在住。

ウィーンで哲学の博士課程を修了し、その後、キュレーター、研究者、編集者として活動する。

1990年「ロッセもしくは物質の変換展」/キュレーション (グラーツ, Steirischer Herbst)

1990年「エキゾチック・ヨーロッパ展」/キュレーション (ロンドン, 巡回展)

1995年「アフリカ現代アート七つの物語展」/キュレーション (ホワイトチャペル・ギャラリー, クンストハーレ・マモ) 他

1992年～1995年「アフリカ95」/アーティストック・ディレクター (ロンドン, ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツの協力によるアーティスト手動のアート・フェスティバル)

1996年 アーティストや書き手のための機関誌として、『メトロノーム』を立ち上げる。様々な場所で生活、活動をしながら『メトロノーム』を制作している。メトロノーム誌はクンストハーレ・バーゼル、DAAD (ベルリン)、ベニス・ビエンナーレドクメンタ10 (カッセル) パリのシャンタル・クルーセルギャラリーなどの国際展で紹介/展示されている。

2002年 フューチャー・アカデミーを立ち上げ。(エジンバラ, 芸術大学)

2005年 フランス人批評家のトーマス・ブーと供に、メトロノーム・プレスと初期構想のための事務所を設立。(パリ)

2007年 ドクメンタ12のプロジェクト「ドクメンタ12・マガジズ」へ参加決定。



④ メトロノーム誌のロゴ

□発表作品について

本展覧会では、1996年以来出版している、アーティストのための機関誌『メトロノーム』が展示される他、かつて靴のデザインをしていた彼女が制作した靴や靴型が展示されます。『メトロノーム』は、1996年から2006年までの間に制作された作品10誌が並び、アフリカのダカールやセネガルを訪れて制作された物や、今年発行する東京版のためのコンセプトなど、10年間の『メトロノーム』の活動が紹介されます。また、そうした資料の他に、『メトロノーム』の発行に至るまでのプロセスや、アーティストとのコミュニケーションの様子を撮影したフィルム (1998年にクンストハーレ・バーゼルで行われた「テンポラボール/Tempolabor」-自由思想研究所)の様子や、2006年にアメリカのオレゴンで行った「フューチャー・アカデミー/Future Academy」のサバイバル旅行のドキュメンタリーなど)や立体作品など、幅広い作品が展示されます。

また、靴のデザインの知識と、古本屋街である神田という地域性を意識し、古本で制作したサンダル (紙草履 Kami Zoh-ri) も展示いたします。

世界地図帳や、ケータリングの手引き、19世紀の挿絵入り聖書、ペーパーバックの小説書などで制作された室内用のサンダルの型は、ジャック・ラカンの「think with our feet」(1973)という言葉と連想させます。

【project collective.020】

<オーウイ島/韓国からの招聘作家>

カン・ホング

開催：10月20日(金)
～11月11日(土)



- ① シリーズ「tranee_2005」
- ② シリーズ「tranee_2005」
- ③ シリーズ「tranee_2005」
- ④ シリーズ「micky house」
- ⑤ 古本で制作したサンダル
- ⑥ 「government building-2000」
- ⑦ 「fire_1995」

□略歴

姜 洪求 (Kang, Hong-Goo/カンホング)

1956年生まれ/韓国/於義島

美術家 弘益大学学部絵画科卒業 弘益大学大学院絵画科卒業

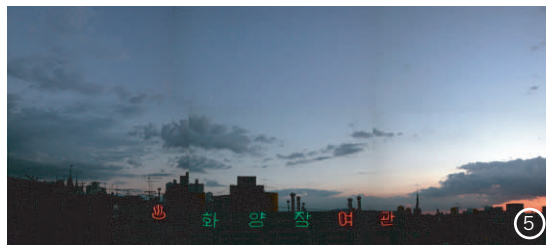
<個展>

- 1992年 ギャラリー 四角(ソウル)
- 1999年 錦湖美術館(ソウル)
ギャラリークリムシ(スウォン)
- 2002年 四谷ビューイングルーム(東京)
- 2003年 オルタナティブスペースプル(ソウル)
- 2004年 ギャラリー スップ(ソウル)
- 2006年 リウム美術館、ロデンギャラリー(ソウル)

<グループ展>

- 2005年 『視覚紋事』展(サビナ美術館、ソウル)
- 『動物園』展(ギャラリースケイプ)
- 『DMZ』展(パジュ出版 文化団地)
- 『翻譯に抵抗する』(トータル美術館)

- 2006年 『引き金を引きなさい』(ギャラリーピビスペース、デジョン)
- 『時間の顔、顔の時間』(アートスペース恣、ソウル) 他 多数



【project collective.021】

<チェンマイ/タイからの招聘作家>

コジット・ジュンタラティップ

開催：11月24日(金)
～12月16日(土)



- ① 「LOVE」
- ② 「愛あるところに痛みあり」
- ③ 「kiss」
- ④ 「kiss」写真展カタログ抜粋
- ⑤ 「kiss」写真展カタログ抜粋
- ⑥ 「kiss」写真展/会場風景

□略歴

Kosit Juntaratip (コジット・ジュンタラティップ)

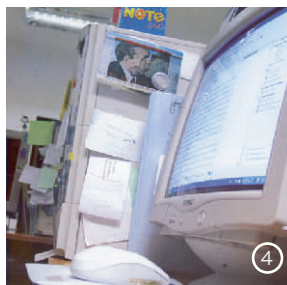
1971年生まれ/タイ/チェンマイ チェンマイ在住

マルチメディア・パフォーマンスアーティスト

- 1993年 チェンマイ美術大学絵画科卒業。
- 1997年～2003年 ケルンメディア大学とライプツィヒ美術大学にてメディアアートを学ぶ。(ドイツ)
- 2004年 チェンマイ美術大学のメディアアート&デザイン科講師。

- 1992年 タイの歴史、そして「愛と痛み」を中心テーマに、絵画やドローイング、パフォーマンス、インスタレーション、フィルムなど多岐にわたる作品を発表している。
- 1994年 バレンタインデーに、チェンマイの教会に親戚一同を招いてダッチワイフのリリー・オヴァリーと結婚式をあげるパフォーマンスをおこなう。同年バンコクのアイデアル・ギャラリーでは、自分の血で”LOVE”、”HAPPY BIRTHDAY 24”という文字を書くパフォーマンスと写真を発表。
また90年代半ばに行なわれた、チェンマイの町中を使ったアートイベント「チェンマイ・ソーシャル・インスタレーション」の主催者の一人として、街とアートの実験的な試みにも積極的に参加。
- 1997年 正月、リクリット・ティラバーニャ、ナウィン・ラワンチャイクンとともに、ターペー門前にチェンマイ市民を招き、音楽とお祝い料理ラブでもてなすイベントを行なう。

6年にわたるドイツ生活でデジタルとアナログのプロセスに対する考察を深め、ユーモアと痛みを交えた独特のデジタル/アナログな世界が特徴である。



【project collective.022】

＜大館市/秋田県からの招聘作家＞

O/DATE

開催：12月22日(金)
～2007年1月20日(土)



- ① 「O/DATE」イメージ
- ② 大館大町商店街
- ③ 大文字祭り
- ④ 大文字祭り
- ⑤ 大館大町商店街
- ⑥ 大館大町商店街

□略歴

ODATE Art Unit "O/DATE" (大館アートユニット"ゼロダテ") 2006年結成

漫画家□普津澤 画乃新 (20歳) / デザイナー 石山 拓真 (30歳)
美術家□中村政人 (43歳)

「大館」のローマ字表記「ODATE」の「O」に斜線を引くことによって「ODATE (大館)」が「O/DATE (ゼロダテ)」ゼロの日 (出発点) と意味を変える。

一筆入れただけで意味を変化させるというそれは、アーティストが少し手を加えただけで既存の意味を変え、そこに新しい意味をもたらすということに似ている。またそれはアーティストにしかない感覚で、大館に対して新しい提案を試みることである。

まずはこのユニットを結成し、その中で大館に新しい提案をしていき、のちに秋田県大館市においてアートプロジェクトを開催することと、大館を活性化し再生することを中長期的な目標とする。



■ 2006年12月22日(金) オープニングパーティを開催します。秋田の郷土料理と秋田のお酒をお楽しみ下さい。

■ 2007年1月13日(土) 新年会を兼ねて大館に縁のあるゲストを迎えて、ディスカッションを予定しています。

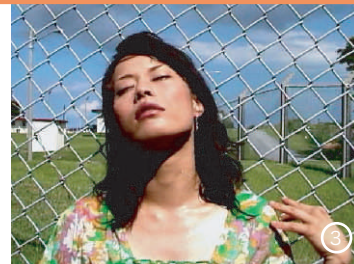
お正月気分が抜けないうまま大館について語り合いたいと思います。

【project collective.022】

＜沖縄県/那覇市からの招聘作家＞

山城知佳子

開催：2007年1月26日(金)
～2月17日(土)



- ① 「オキナワTOURIST墓庭エイサー」
- ② 「オキナワTOURIST
にほんへのたび」
- ③ 「オキナワTOURIST
I like OkinawaSweet」
- ④ 「OKINAWA墓庭クラブ」
- ⑤ 「Horseback Riding Girls」
- ⑥ 「Anyway・・・」

□略歴

山城 知佳子 (chikako Yamashiro/やましろ ちかこ)

1976年生まれ/日本/沖縄県那覇市 那覇市在住

美術家、ビデオ/ビデオパフォーマンス

1999年 沖縄県立芸術大学絵画科。
2000年 イギリス、サリー州アート&デザイン大学交換留学。
2002年 沖縄県立芸術大学大学院修了。

＜個展＞

2002年 「墓庭の女」(前島アートセンター、那覇)
2004年 「オキナワTOURIST」(前島アートセンター、那覇)
2005年 「anyway...」(ギャラリーラファイエット、那覇)

＜グループ展＞

2004年 アサヒアートフェスティバル参加企画
沖縄カフェ「かなさん」(RICE+, 東京)
2005年 「Paradise views 楽園の果て」(東京国際フォーラム、東京)
倉敷現代アートビエンナーレ(加計美術館、倉敷)
第43回岡山市芸術祭・岡山映画祭2005(岡山)
「オキナワ記憶の道」(日仏学院)

＜プロジェクト＞

2003年 「前島青年会」wanakio2003(前島3丁目空店舗)
2006年 「PEACE花獅子プロジェクト」

